

九州地方の指導にあたって ～環境問題や環境保全を中核とした考察

●『学習指導要領解説』の抜粋

日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域について、以下の(ア)から(キ)で示した考察の仕方を基にして、地域的特色をとらえさせる。「(ア)自然環境を中核とした考察」「(イ)歴史的背景を中核とした考察」「(ウ)産業を中核とした考察」「(エ)環境問題や環境保全を中核とした考察」「(オ)人口や都市・村落を中核とした考察」「(カ)生活・文化を中核とした考察」「(キ)他地域との結び付きを中核とした考察」

(エ) 環境問題や環境保全を中核とした考察

地域の環境問題や環境保全の取組を中核として、それを産業や地域開発の動向、人々の生活などと関連付け、持続可能な社会の構築のためには地域における環境保全の取組が大切であることなどについて考える。

●指導上の留意点

日本の国土の地域的特色を様々な面から考え、理解させる。九州地方は南西諸島がふくまれるため、日本の地域区分の中では、特に大きな広がりを持つ地域である。まず第一に、沖縄島や周辺の島々をふくめた広がりイメージできるようにし、他の地方とは異なる特色を持つ自然環境を考えさせたい。一年中温暖な南西諸島や台風、梅雨の影響などの気候だけではなく、雲仙岳や桜島など火山活動が日々の暮らしに密接にかかわっていることにも気づかせたい。

現在の九州地方は福岡県を中心に中国、韓国をはじめとしたアジア諸国との結びつきが強まっている。交通機関の発達による観光、ビジネスなどの人の移動や、国際分業や貿易といったモノの移動など、ますます活発になっている。このような九州地方とアジア諸国との交流は古くから行われているもので、そのような点を歴史的分野の授業と関連づけて理解させたい。

●ワークシートの単元構成 <想定する時間数:全体で5時間>

時数	単元名	学習内容	主な学習項目	ページ
1	九州地方のあらし	九州地方の位置と広がり 自然環境 大陸との関係	構成する県名 主な地形と気候の特色	p.56
2	火山と農業	自然災害 農業開発と畜産業	主な火山、シラス台地 ハザードマップ、養豚	p.57
3	工業の生産と公害	工業の発展と変化	北九州工業地域 エネルギー革命、IC産業	p.58
4	南西諸島の自然環境と暮らし	観光開発と環境保全 沖縄の発展	亜熱帯、さんご礁、伝統文化 アメリカ軍基地	p.59
5	九州地方のまとめ	大きくとらえた九州地方	白地図を利用して、 九州地方の特色を整理する	p.60

九州地方 ①

九州地方のあらまし

●学習のねらい●

地図帳を使って九州地方の位置や構成する県、自然環境の特色を調べよう。

九州地方の範囲は広く、南西諸島だけでもその両端は1,000km以上におよんでいます。九州地方の位置とその広がりをも他の地方と比べてみましょう。実際に1,000kmという距離は、東京から福岡市や札幌市までの距離にほぼあたります。こうした位置関係から、九州地方の最北の福岡県と沖縄県では気候をはじめとした自然環境が大きく異なります。

また、九州地方は大陸に最も近い位置にあり、古くから大陸との交流が行われてきたため、多くの外国の文化の影響がみられる土地でもあります。例えば、長崎県の対馬は、対馬海峡をはさんでプサン（釜山）まで50kmほどであり、修学旅行で韓国を訪問する高校もみられます。

九州地方の中心地である福岡市は、特にアジア地域との結びつきが強い都市です。福岡空港には多くの国際便の発着がみられるほか、博多港—プサン港との間は高速船による航路で結ばれています。

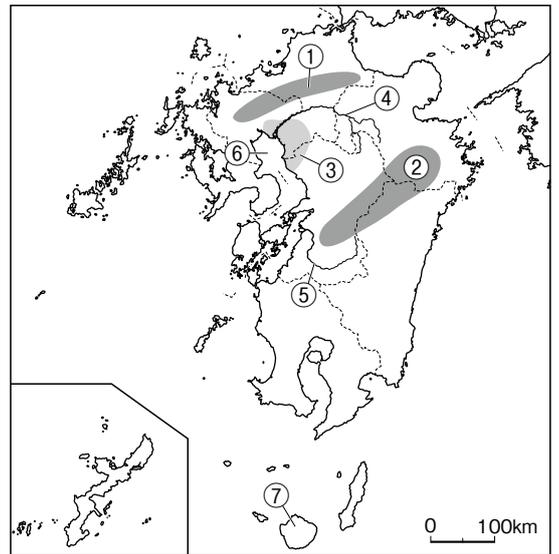
自然環境の面では、緯度のうえで南に位置しているだけでなく、日本海流（黒潮）と対馬海流という二つの暖流にはさまれているため、温暖な気候にめぐまれています。また、太平洋に面する宮崎県や鹿児島県、沖縄県は、台風や梅雨の影響を受け、春から秋にかけての降水量が多くなります。また、南西諸島では亜熱帯性の気候がみられ、さんご礁やマングローブなどが発達しています。

課題 1 次の都市間の距離を地図帳などを参考に調べてみよう。

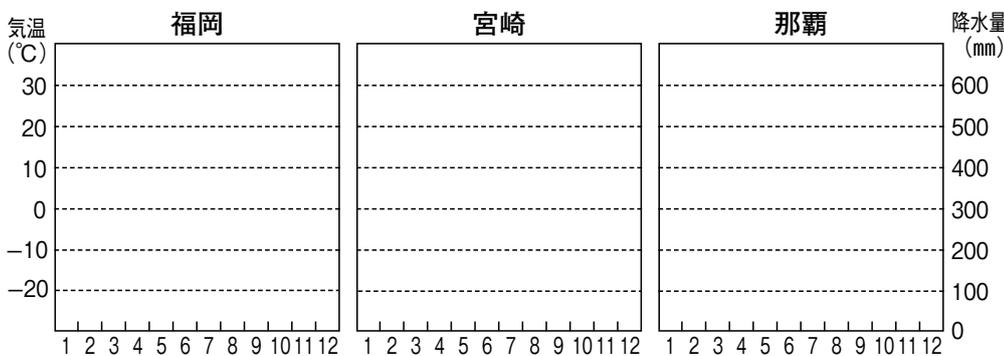
- ① 東京—大阪市 約 () km
- ② 福岡市—プサン市 (韓国) 約 () km
- ③ 福岡市—那覇市 約 () km
- ④ 那覇市—石垣市 約 () km

課題 2 次の文章を参考に、右の地図の①～⑦に当てはまる自然地名を記入しよう。

- ・なだらかな (①) 山地と険しい (②) 山地
- ・ (③) 平野を流れる (④) 川
- ・八代海に注ぐ (⑤) 川
- ・干満の差が大きく、のりの養殖が盛んな (⑥) 海
- ・世界自然遺産に指定されている (⑦) 島



課題 3 下の表を見て、次の欄にそれぞれの都市の雨温図を作成しよう。また、作成した雨温図を見て、それぞれの都市の気候の特徴を比べよう。



各地の月平均気温 (上段, °C) と降水量 (下段, mm) (「理科年表 2009年版」より)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
福岡	6.4	6.9	9.9	14.8	19.1	22.6	26.9	27.6	23.9	18.7	13.4	8.7	16.6
	72.1	71.2	108.7	125.2	138.9	272.1	266.4	187.6	175.0	80.9	80.5	53.8	1632.3
宮崎	7.6	8.3	11.7	16.1	19.4	23.0	26.8	27.0	24.1	19.2	14.3	9.4	17.2
	71.8	89.5	180.2	217.8	250.3	417.5	303.9	269.1	336.9	179.7	88.7	51.8	2457.0
那覇	16.6	16.6	18.6	21.3	23.8	26.6	28.5	28.2	27.2	24.9	21.7	18.4	22.7
	114.5	125.2	159.6	180.7	233.8	211.6	176.1	247.2	200.3	162.9	124.1	100.7	2036.9

九州地方 ②

火山と農業

●学習のねらい●

九州地方に分布する火山と、人々の暮らしや産業とのかかわりを調べよう。

日本は多くの火山が分布する国ですが、九州地方には人々の暮らしに影響を与えている火山が多く見られます。火山はその活動を通して温泉や美しい風景をつくり出し、多くの人々を集める観光地として、また、再生可能なエネルギーである地熱発電として利用されています。その一方で、1991年の雲仙岳（平成新山）の噴火時のように、火砕流や毒性をふくむ火山ガス、地震の発生など、地域の人々に大きな自然災害をもたらします。また、火山灰は農作物に被害を与えるほか、長時間に渡り大気中を漂うため、日照不足や気温の低下を招くことがあります。

また、火山活動によって九州本島の南

部には、シラスとよばれる火山灰が堆積したシラス台地が広く分布しています。「白い砂」を意味するシラスは保水力がとぼしく、シラスが広がる地域では干ばつの被害を受けやすくなっています。そのため、さつまいもや陸稲、なたねなどを栽培する畑作や畜産に限られていました。このような条件のなかで、大隅半島の笠野原台地では土地改良やかんがい施設の整備により生産性が高められ、野菜類のほか飼料作物も栽培されるようになりました。また、大規模な養豚場や養鶏場がつくられ、現在、宮崎県や鹿児島県など九州本島南部は肉用牛、豚、肉用若鶏を生産する日本有数の畜産地域に成長しました。

課題 1 ①の例にしたがって、ほかの②～⑥の火山の位置を地図帳で調べ、右の地図に番号と記号▲を記入しよう。

(例：①雲仙岳)

②阿蘇山 ③桜島(御岳) ④久住山 ⑤霧島山 ⑥開聞岳

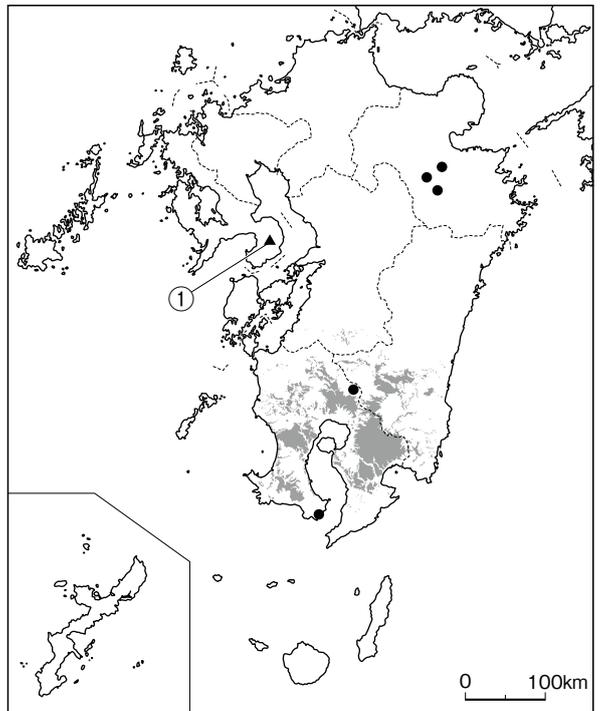
課題 2 地図中の●は、火山の力を利用して発電を行う発電所の分布を示しています。そのような方法で行う発電を何といえますか。

発電

課題 3 火山活動が人々の生活に与える影響について、利点、不利な点とに分けてまとめてみよう。

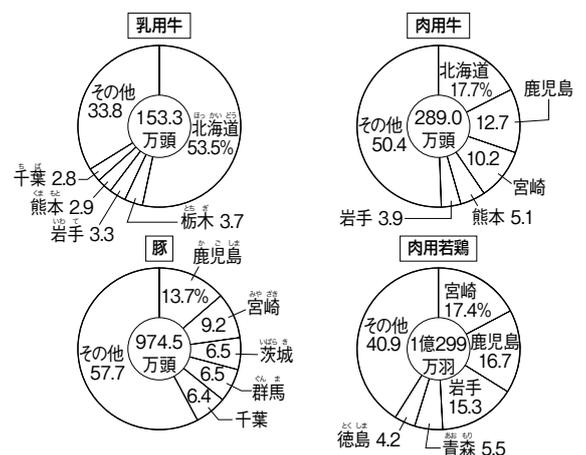
利点

不利な点



課題 4 地図中の■はシラスの分布を示しています。シラスの特徴やその分布についてまとめてみよう。

課題 5 右のグラフから、九州地方の農業の特色とその背景を、火山とのかかわりを参考にして考えてみよう。



(2008年「畜産統計」(ほかによ))

九州地方 ③

工業の生産と公害

●学習のねらい●

九州地方における工業を環境とのかかわりから調べ、これからの工業のすがたを考えよう。

北九州工業地域は、筑豊炭田、三池炭田など周辺地域で産出される石炭と、中国からの鉄鉱石を背景に鉄鋼業が発達していました。しかし、原料の輸入先がオーストラリアやブラジルなどに変わり、また、大消費地から遠距離に位置するなどの条件が重なり、工業生産額で後発の工業地域を下回るなど、その地位は大きく低下しました。また、大気汚染や水質汚濁などの公害が発生したことも、北九州工業地域に変化をもたらしました。

現在の九州地方では、半導体や集積回路（IC）などの電子部品の工場や自動車工場が進出しています。電子工業の製品は小型で軽量ながら高価格であり、生産費に対して輸送費の割合が低くすむため、消費地から遠いという不利な点を航

空機輸送で補うことができます。電子工業が発達した九州地方は、「シリコンアイランド」などとよばれていました。自動車工業は、福岡県が素材型工業からの脱却を図るために工場を誘致したことから始まり、全国でも有数の生産台数を誇るまでに成長しました。今後は、中国やASEAN諸国に近い位置にあることを生かして、さらに成長することが期待されています。

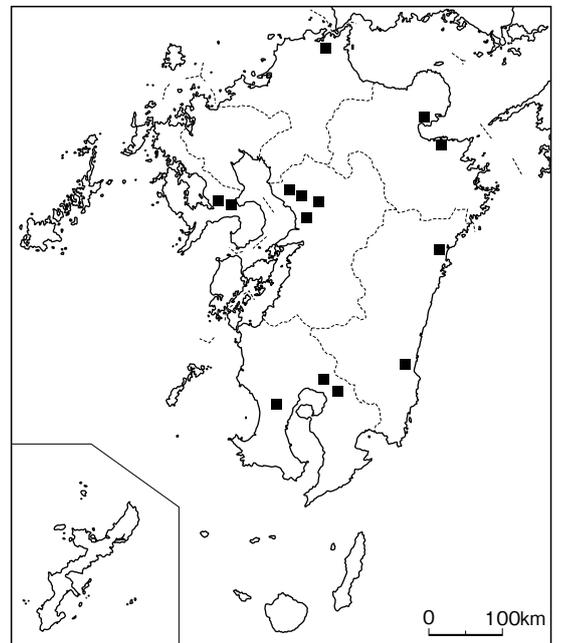
また、北九州市や大牟田市、水俣市などでは、産業廃棄物を他の産業の原料として活用し、最終的に廃棄物をゼロにすることをめざすエコタウン事業により、環境への負荷をおさえたまちづくりを進めています。

課題 1 次の文は、北九州工業地域について述べた文です。文中の①～⑧に当てはまる語句を記入しよう。

1901年に官営（①）製鉄所が建設されて以来、地元の（②）炭田や（③）から輸入する鉄鉱石を背景に発達を続けました。しかし、1960年代以降の（④）革命で炭鉱が閉山したことや、鉄鉱石の輸入先が（⑤）に変わるなど、原料の面で有利ではなくなりました。また、北九州市は東京などの（⑥）に遠いことや、（⑦）や洞海湾の（⑧）などの公害が発生したことも鉄鋼業が衰退する原因となりました。

課題 2 九州地方では、自動車生産による工業生産額が伸びてきました。このように自動車工業が発達した理由を考えてみよう。

課題 3 右の地図中の■は、集積回路（IC）工場の位置を示しています（2008年）。この地図に、国際便のある空港の位置を地図帳で確認し記入しよう。また、工場と空港が近いのはなぜですか。その理由を考えてみよう。



課題 4 北九州市や大牟田市では、「エコタウン事業」という環境にやさしいまちづくりが進められています。「エコタウン事業」とは具体的にどのような環境対策を行っているのかを調べてみよう。

九州地方 ④

南西諸島の自然環境と暮らし

●学習のねらい●

沖縄県などの南西諸島について、自然環境や文化の特色と社会的な課題を考えてみよう。

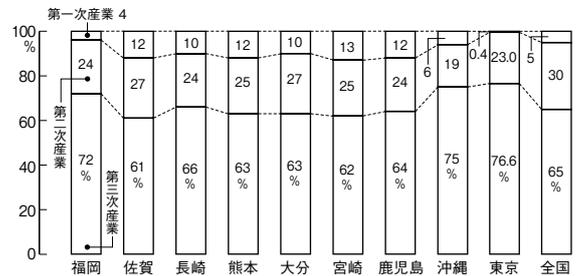
南西諸島は、種子島や屋久島などから西表島や与那国島までの広範囲に広がって位置しています。ここは南西諸島の気候区に属し、冬でも温暖であることが大きな特徴です。このため、美しいさんご礁の海岸や亜熱帯性の植物をはじめとした自然環境が見られ、全国から多くの観光客を集めています。

沖縄県には独特の自然環境のほかに、かつて琉球王国であった歴史があり、紅型や琉球ガラスなどの伝統工芸、島唄とよばれる民謡やエイサー踊りなどの伝統的な文化が注目され、訪れる観光客数を伸ばしてきました。沖縄島だけでなく、石垣島や宮古島などにもリゾート開発が進み、「離島ブーム」という言葉も

生まれました。現在、観光業は沖縄県の中心的な産業となり、産業別の人口割合でも、観光業をふくむ第三次産業が75%と、とても高い割合になっています(2005年)。また、第三次産業の割合が高い理由として、アメリカ軍の基地に関連する仕事に就いて生活する人が多いこともあげられます。日本にあるアメリカ軍の軍用地面積のおよそ4分の3が沖縄県に集中し、沖縄島の面積のおよそ5分の1を軍用地がしめています。これらの基地は、日米安全保障条約に基づいて設置されていますが、1980年代後半に始まった社会主義国の民主化と東西冷戦が終結したことにより、基地のあり方にもさまざまな議論があります。

課題 1 沖縄県に多くの人々を集める観光資源となっている、沖縄固有の動植物や伝統文化を調べてみよう。

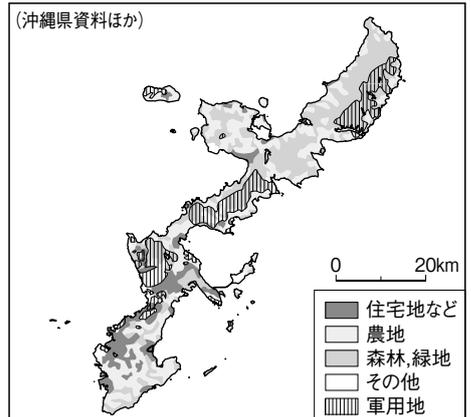
課題 2 右の表は、九州地方の各県と東京、全国の産業別人口の割合を示したものです。九州地方や全国と比べて、沖縄県はどのような特徴があるのか書き表してみよう。また、その理由について考えてみよう。



(2005年 国勢調査より、分類不能は第三次産業に含む)

課題 3 冬でも温暖な気候を利用して、どのような農業を行うことができるか、本州と比較しながら考えてみよう。

課題 4 右の地図の軍用地を示す範囲を赤色で着色してみよう。また、そのことから、どのようなことがわかるか書いてみよう。



九州地方 ⑤

九州地方の まとめ

●学習のねらい●

九州地方について学習してきた内容を地図の上で確認しながらまとめよう。

九州地方は日本の南西端にあり、ユーラシア大陸や朝鮮半島に最も近い位置にあります。古くから外国との交流の玄関口としての役割を果たし、鉄砲やキリスト教の伝来や、陶磁器のヨーロッパへの輸出の窓口ともなりました。現在でも、九州地方はアジア地域を中心に国際交流の活動が盛んであり、福岡市内などでは中国人観光客のための漢字や、韓国人観光客のためのハングル文字の看板や案内なども見られます。

人々の暮らしは、温暖な気候のため過ごしやすいものの、台風や梅雨、桜島をはじめとして活動が活発な火山が多いことによる自然災害などの被害を受けやす

くなっています。宮崎県や鹿児島県では、温暖な気候を利用して野菜の促成栽培が行われたり、早場米が生産されたりしています。遠浅の地形をもつ有明海の周辺地域では、古くから干拓によって土地を広げ、稲作地帯が形成されました。また、九州南部に広がるシラスとよばれる火山灰地では、自然条件を克服して畜産業が盛んになっています。多くの離島からなる沖縄県では、広大なアメリカ軍基地による問題とともに、過疎の対策と産業の振興という大きななやみを抱えています。一方、琉球王国時代からの伝統的な文化や亜熱帯の自然環境を生かした観光産業の進展が期待されています。

課題 1 次の①～⑩の文章は、地図中の①～⑩について説明したものです。①～⑩の()に当てはまる語句を記入しよう。

- ()市は、官営()製鉄所の建設から鉄鋼業の歴史が始まり、現在は環境に優しいまちづくりを目指している。
- ()市は、国の()機関が集まる九州地方の政治・経済の中心であり、アジア諸国との交流が盛んである。
- ()平野は低湿地が多く、かんがいや排水のために利用する()とよばれる水路が網の目のように掘られている。
- ()海では遠浅の()を埋め立てる干拓事業が行われてきた。1997年にしめ切られた堤防によって海の環境に影響をおよぼしているとして議論されている。
- ()市の港は、江戸時代には中国やオランダとの玄関口で、人工島であった()には外国人が住んでいた。太平洋戦争末期に原子爆弾が投下された。
- ()山は、現在も活動が活発な火山であり、外輪山に囲まれたくぼ地は、鉄道が通るほど巨大な()である。
- ()平野では()の原料となるい草の栽培が盛んであるが、近年、中国からの安いい草が輸入されるようになり、産地どうしの競争が厳しくなった。
- ()市では、かつて化学工場が海へ流した廃液にふくまれていた()により公害が発生し、多くの人々が犠牲になった。
- ()平野では、海岸付近にビニルハウスが建ち並び、温暖な気候を利用して、他の地域より早く野菜を出荷する()栽培が行われている。
- ()市は、復元された()王朝の首里城などの観光資源に恵まれる一方、周辺の離島を結ぶ交通の要地としても重要な県庁所在地である。

